

開校 30 年記念特設ページ（8月号）

柏尾さんから見た

開校からの歩みと伝統



今月は、開校から本校で勤務されている柏尾さんにインタビューします！
柏尾さんは開校より介護員として勤務し、昨年度からは非常勤専門支援員として勤務しています。実直に本校を見つめてきた柏尾さんの視点で語っていただきました！

Q 1. 開校当初の学校はどのような環境・雰囲気でしたか？

A. 毎日のように玄関ホールへ新しい教材や物品（備品）が届き、職員全員で荷ほどきをし、各部署に設置しました。すべてが新鮮で、これから新しい物事が始まる…そんな感じがしました。

Q 2. 学校施設の環境美化のポイントや自慢できることは？

A. 清掃と補修を継続し、設備を大切に使うことがポイントです。
30年経った現在も、来校された方に「きれいな学校ですね」と言われると聞いて、継続して取り組むことが大切だと改めて感じました。

Q 3. 最も印象に残っている生徒とそのエピソードは？

A. 1期生とミンクの飼育場へ現場実習に行った際、女子生徒の一人が糞を運ぶ作業中、肥溜めに落ちて悲惨な状態になってしまったことが忘れられません。

Q 4. 最も印象に残っている教員とそのエピソードは？

A. 職員による芸術鑑賞会では、これまで『三日月』『YMCA』『コーヒールンバ』『Close To You』などの曲を教員の皆さんと一緒に演奏させていただきました。中でも印象に残っているのは、N校長先生が飛び入り出演で、『なごり雪』をギター弾き語りで演奏されたのが圧巻でした。

Q 5. 開校以来、変わったことと変わらないことを教えてください。

A. 周りは変わったが、自分は変わっていないと思います。これからも変わらずに自分の仕事を全うしたいと思っています。

Q 6. 今後の40年、50年に向けて期待することは？

A. ひたすら校訓！

「明朗」「誠実」「全力」